

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 20.3.19 第 169 回国会第 10 号

3 月 19 日、第 10 回の委員会が開かれました。

1 関税率法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 8 号）

- ・額賀財務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・額賀財務大臣、森山財務副大臣、政府参考人及び駒崎衆議院事務総長に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・佐々木憲昭君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 自民、民主、公明、国民、中村喜四郎君 反対 共産）
- ・後藤田正純君外 3 名（自民、民主、公明、共産）から提出された附帯決議案について、松野頼久君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成 自民、民主、公明、共産、国民、中村喜四郎君）

（質疑者及び主な質疑内容）

盛山正仁君（自民）

- ・通関手続において、諸外国のセキュリティ管理の状況はどのようになっているか。
- ・空港、港湾のソフト面での国際競争力強化の具体的方策を説明してほしい。
- ・コンプライアンス体制を整備した事業者に対する特例措置の内容を説明してほしい。
- ・日本版 A E O 制度構築に向けて諸外国との連携をいっそう強化する必要があるのではないか。

松野頼久君（民主）

- ・憲法 59 条第 2 項が規定する「異なった議決」の意味は何か。
- ・参議院で否決も修正もしていない議案を衆議院で再議決した事例はこれまでに存在するか。
- ・政府案の対案を参議院が可決した場合、それを政府案の否決とみなすことが可能かどうか、衆議院事務局及び内閣法制局の見解を示してほしい。

下条みつ君（民主）

- ・税関の業務量の増加率に比べ税関職員が少ないという現状をどのように考えるか。
- ・税関検査における機械化について政府はどのように考えているのか。
- ・A E O 制度の推進による通関手続の簡素化と貨物のセキュリティ管理とのバランスに関し、財務大臣はどのように考えるか。

- ・新銀行東京に対し金融庁は厳しい対応を行うべきではないか。

階猛君（民主）

- ・最近の為替相場について、財務大臣はどのように認識しているのか。
- ・関税の暫定税率が延長されなかった場合、国民生活にどのような影響があるか。
- ・臨時開庁手数料の廃止や水際取締りの強化など税関業務拡大に伴う執行体制の充実・強化の重要性についてどう考えるか。

佐々木憲昭君（共産）

- ・日本版 A E O 制度の対象事業者となるには、労働法制などを含むコンプライアンス体制が整備されていることが必要であると思うがどう考えるか。
- ・日本版 A E O 制度の対象拡大は、大企業による効率化最優先の動きを助長し、それを後押しすることになるのではないか。